

未来のヴィルトゥオーゾを、  
Toyamaから世界へ。



4/20日

## 第58回 定期演奏会

会場/オーバード・ホール

開演/14:00 (開場13:30)

入場料/2,000円 (税込)

(全席自由/友の会会員・学生・生徒・児童 無料)

指揮/マティアス・バーメルト (札幌交響楽団首席指揮者)

ロッシーニ:歌劇《泥棒かささぎ》序曲

モーツァルト:交響曲 第29番 イ長調 K.201

ベートーヴェン:交響曲 第5番 ハ短調「運命」作品67

# 桐朋アカデミー・オーケストラ

## 2019春季コンサート・スケジュール

5/11日 12日

### 桐朋学園大学院大学 桐朋アカデミー・オーケストラ コンチェルト実習公開授業

会場/富山市民芸術創造センター・リハーサル室

開演/両日ともに開演14:00 (開場13:30)

入場無料

指揮/山下 一史 (桐朋学園大学院大学特別招聘教授) 独奏/桐朋学園大学院大学第2年次生

ベートーヴェン:ピアノ協奏曲 第2番 変ロ長調 作品19 より 第一楽章

プロコフィエフ:ピアノ協奏曲 第3番 ハ長調 作品26

サン＝サーンス:序奏とロンド・カプリチオーソ 作品28

ドヴォルザーク:チェロ協奏曲 ロ短調 作品104 より 第一楽章

濱島祐貴:二胡とオーケストラのための協奏曲 (演奏順不同)

6/8日

### 特別演奏会

〈ベルリン・フィルのメンバーを迎えて〉

会場/オーバード・ホール

開演/14:00 (開場13:30)

入場料/3,000円 (税込) (全席自由/友の会会員・学生・生徒・児童 無料)

指揮/ナビル・シェハタ (ミュンヘン室内歌劇場音楽監督)

チャイコフスキー:バレエ音楽《くるみ割り人形》組曲 作品71a

リムスキー=コルサコフ:スペイン奇想曲 作品34

チャイコフスキー:交響曲 第5番 ホ短調 作品64

ナビル・シェハタ

©Shumpei Ohsugi

※演奏曲目・出演者等は変更になる場合もあります。演奏会等に関する最新情報は、本学ホームページ (<http://www.tohomusic.ac.jp>) をご覧ください。  
※チケットは3月1日(金)より下記プレイガイドにて一斉発売。桐朋オーケストラ・アカデミー・友の会会員・学生・児童の皆様は、無料でご入場いただけますが、満席となった際は入場をお断りすることがございます。あらかじめご了承ください。

チケット販売所 桐朋学園音楽部門富山キャンパス事務室、北日本新聞本社プレイガイド、アスネットカウンター(オーバード・ホール1F)、ミヤコ楽器店

■主催/桐朋オーケストラ・アカデミー、桐朋学園大学、桐朋学園大学院大学、(公財)富山市民文化事業団、富山市、富山市教育委員会、(株)北日本新聞社

■後援/富山県、(一社)富山県芸術文化協会

■お問い合わせ/〒930-0138 富山市呉羽町 1884-17 桐朋学園音楽部門 富山キャンパス事務部教学課 TEL.076-434-6800

桐朋オーケストラ・  
アカデミー  
「友の会」  
会員募集中

# Toho Academy Orchestra

## 演奏を通して、 音楽の本質に触れる。



《桐朋オーケストラ・アカデミー》は、プロ・オーケストラ奏者育成のための教育機関として、富山市の協力のもと、1995年9月、呉羽に開校いたしました。開校以来、桐朋学園の伝統である合奏教育を主とした独自のカリキュラムを編成し、内外の一流の教授陣が指導にあたっています。《桐朋アカデミー・オーケストラ》は、その教育成果を発表する実践の場として、教授陣及び、ここで研修する国内外各地で選抜された学生を中心に組織され、定期演奏会、特別演奏会、桐朋学園大学院大学生をソリストとする協奏曲の夕べ等の公演を行い、地域の文化活動にも貢献しています。

### 秋季コンサートの予定

9/21 (土)	特別演奏会	●開演 / 14:00 ●会場 / オーバード・ホール
10/19 (土)	協奏曲のひとつ	●開演 / 14:00 ●会場 / オーバード・ホール
11/6 (水)・7 (木)	第47回室内楽定期演奏会	●開演 / 両日とも19:00 ●会場 / 富山市民プラザ アンサンブルホール
11/17 (日)	第59回定期演奏会	●開演 / 14:00 ●会場 / オーバード・ホール

## 2019春季コンサート出演者プロフィール

### 4月20日 (土) 第58回 定期演奏会



〔指揮〕  
**マティアス・バーメルト** Matthias Bamert

©Yasuo Fujii

スイス生まれ。作曲をブルーゼとシュトックハウゼンに師事。指揮者として、北米でジョージ・セルに弟子入りした後、ストコフスキーの助手となり、マゼール時代のクリーヴランド管弦楽団で常任指揮者を務めた。これまでに、バーゼル放送交響楽団およびロンドン・モーツァルト・プレイヤーズの音楽監督、ルツェルン音楽祭の監督、ロイヤル・スコティッシュ・ナショナル管弦楽団およびニュージーランド交響楽団の首席客演指揮者、ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団の副客演指揮者、西オーストラリア交響楽団およびマレーシア・フィルハーモニー管弦楽団の首席指揮者を歴任。2017年より韓国のテジョン・フィルハーモニー管弦楽団の首席客演指揮者を務め、2018年春には札幌交響楽団の首席指揮者に就任した。また、クリーヴランド管弦楽団、シカゴ交響楽団、ロサンゼルス・フィルハーモニック、パリ管弦楽団、ウィーン交響楽団、フィルハーモニア管弦楽団、サンクトペテルブルク・フィルハーモニー交響楽団等に客演し、確固たる地位を確立している。80枚以上の録音作品をリリースしており、その多くは国際的な賞を受賞している。

### 5月11日 (土)・12日 (日) コンチェルト実習 公開授業



〔指揮〕  
**山下 一史** Kazufumi Yamashita

©ai uecla

桐朋学園大学を卒業後、ベルリン芸術大学に留学、1986年ニコライ・マルコ国際指揮者コンクールで優勝。カラヤンが亡くなるまで彼のアシスタントを務める。以後ヨーロッパでの実績を重ね、ヘルシンボリ響首席客演指揮者を務めた。日本国内ではN響を指揮してデビュー、以後主要オーケストラに定期的に出演、好評を得ている。これまでにアンサンブル金沢プリンシパル・ゲスト・コンダクター、九響常任指揮者、大阪音大ザ・カレッジ・オペラハウス常任指揮者ならびに同団名誉指揮者を歴任。2006年4月からは仙台フィルより指揮者として迎えられ、2009年4月から2012年3月まで同団の正指揮者を務める。シューマン作曲歌劇「ゲノフェーファ」日本舞台初演など、オペラ、オーケストラの両面においてますます注目を浴びている。東京芸術大学音楽学部指揮科教授。2016年4月より千葉交響楽団音楽監督に就任、「おらが街のオーケストラ」をキャッチフレーズに定期から音楽教室まで幅広く活動をしている。

### 6月8日 (土) 特別演奏会



〔指揮〕  
**ナビル・シェハタ** Nabil Shehata

©Volker Hornmann

ドイツ人とエジプト人の両親から生まれ、ドイツに育つ。2004年から2008年までは、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の首席コントラバス奏者を務め、ダニエル・バレンボイムの指揮でソリストとしても演奏していた。そして2006年よりバレンボイム、ロルフ・ロイター、ローレンス・フォスター、クリスティアン・ティーレマンらに師事し、指揮活動を開始。いくつかのユース・オーケストラや室内管弦楽団で経験を積んだ後、2007年にコトブスで指揮者として華々

しくデビューを飾り、2008年にはシモン・ポリバル・ユース・オーケストラを指揮して高い評価を得た。2011年9月よりミュンヘン室内歌劇場の音楽監督を務めている。

ベルリン放送響、デュッセルドルフ響、ラインラント＝プファルツ州立フィル、トゥールーズ・キャピトル管、ワシントンのエヴァーメイ室内管、ビルバオ響、大阪フィル、京都市響、紀尾井ホール室内管、新日本フィル、群馬響などに客演。

ミュンヘン室内歌劇場では、ロッシーニ《セビーリヤの理髪師》、サリエリ《ファルスタッフ》をはじめとする数多くのオペラを指揮し、このオーケストラとはマラー「大地の歌」なども演奏している。

2019年9月より、南ヴェストファーレン・フィルハーモニー管弦楽団の首席指揮者に就任予定。

〔ヴァイオリン〕  
**フィリップ・ボーネン**  
Philipp Bohnen  
(ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)

〔ヴィオラ〕  
**清水 直子**  
Naoko Shimizu  
(ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団首席奏者)

〔コントラバス〕  
**スタニスラフ・パヤック**  
Stanislaw Pajak  
(ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)

〔クラリネット〕  
**アレクサンダー・バーダー**  
Alexander Bader  
(ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団)